

## 14. 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト

## 学びの場から、地域の声を広げる力へ

皇學館大学  
CLL活動  
report 2024

広報誌「広報いせ」への記事掲載を通じ、地域活性化に貢献するプロジェクトです。市役所職員の方と協力し、取材や記事作成など、多様な活動に挑戦できます。読者の皆さんに楽しんで貰えるような魅力的な記事になるよう話し合いを重ね作成しています。伊勢市の魅力を一緒に発信しましょう！

メンバー数：8名  
活動場所：伊勢市  
実施主体：伊勢市情報戦略局広報広聴課  
担当教員：池山 敦（教育開発センター）  
活動年度：H30, R01, R02, R03, R04, R05, R06

## 月別活動

- |     |     |                    |
|-----|-----|--------------------|
| 5月  | 27日 | キックオフ              |
| 6月  | 18日 | ミーティング             |
| 7月  | 2日  | 特集記事打ち合わせ          |
|     | 17日 | 特集記事写真撮影           |
| 8月  | 21日 | 読書支援プロジェクト・ワークショップ |
| 11月 | 13日 | ミーティング             |
|     | 14日 | ミーティング             |
| 12月 | 18日 | 特集記事打ち合わせ          |
| 1月  | 9日  | ミーティング             |
|     | 30日 | 特集記事写真撮影           |



## 1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度も昨年度に引き続き、精神的に活動させていただき、読者の方に知ってもらいたい現状や取り組みを発信することができたと思います。

9月号では、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」について取り上げました。「さんあ〜る」の様々な便利機能や使い方、インストール方法などを掲載し、このアプリを利用したいと考える方々が簡単に利用できるように詳細を記事にしました。また、最初のページはイラストなどを使ったストーリー形式にし、読んでみたくなるような要素を加えました。

11月号では、「子ども読書支援プロジェクト」と「図書館でできること」について取り上げました。実際に司書の方から図書館についての様々なお話を聞かせていただき、中でも学校図書館は生徒にとって良い環境が備わっており、活用すべき場所であることを改めて学ぶことができました。また、皇學館高校CLL活動同好会の生徒さんと一緒に図書館を訪問し、図書館でできることについての取材をさせていただきました。あまり知られていない図書館の使い方を、紙面を通して読者の方へ届けるとともに、図書館を利用するきっかけとなるような記事を作成することができたと思います。

3月号では、3月が自殺対策強化月間ということもあり、自殺問題の現状やセルフケアについて取り上げました。自分や周りの人としっかり向き合うことが自殺行為を防ぐ可能性を高めることや、伊勢市内で行われている取り組みを知ることができました。少し暗め内容ですが、自殺について考えるきっかけとなるような紙面を制作できたと思います。

今年度もミーティングや取材などを通して様々な方と関わらせていただき、非常に多くのことを学ぶことができた1年となりました。私たちが精神的にこの活動を行うことができたのは、実施主体様や担当教員、大学のサポートがあったからであると感謝しています。今後も感謝の気持ちを忘れずに、この活動に力を入れていきたいと思っています。

## 活動を通して学んだこと

プロジェクトの進行中、いくつかのミーティングを重ねる中で、広報紙の表紙が読者に与える影響の大きさを実感することができました。特に表紙のデザインや内容は、広報紙に目を通すかどうかを決定づける重要な役割を果たしていることがわかりました。実際に、表紙が引きつけられるものでなければ、その先の内容を読む気を起こさせることが難しく、広報紙全体の効果を左右する要素であると感じました。

## 実施主体からのコメント

伊勢市情報戦略局広報広聴課  
ご担当者様

様々な情報をインターネット上で容易に入手できる時代になりましたが、今でも紙媒体で全世帯に配布される「広報いせ」は市政情報や地域情報を市民に伝える重要な媒体の一つです。この「広報いせ」を多くの人たちが見たいと思ってもらえるようにするために、特定のテーマを深掘りし伝える「特集記事」は、大きな役割を担っています。その「特集」に若者の視点を取り入れて、読者層を広げたいという思いから、平成31年度に「特集記事」の紙面制作を連携して行う、本プロジェクトを立ち上げました。

令和6年度は、「ごみ分別アプリの紹介」「図書館でできること」「自殺予防」をテーマにした特集を行いました。特集の導入部分で、漫画風のデザインを掲載しそのストーリーを考えたり、実際に中学校の図書館を訪れ、本を使ったワークショップを行い、感じたことを紙面に反映させたりするなどして紙面の制作を実施しました。学生、若者ならではの視点から意見を出し合い、真摯かつ楽しむ姿勢で活動に取り組んでいただき、魅力的な広報紙を作ることができました。今後も一緒に読んで、読みたいくなる広報紙づくりを続けていきたいと思っています。

## 担当教員より

## 教育開発センター 池山 敦

人に何かを伝えること。これは簡単なようでとても難しいことがあります。さらに、多くの人に伝えること、広報、ということになるとなおのことです。伝えても伝えても、大きな声を出せば伝わるというものではありませんし、奇をてらったものにすれば注目が集まるとも限りません。行政広報は大切な情報を市民にどう伝えるかを常に考えていらっしゃる媒体で、そこの一翼を担ったことは、メンバーの学生にとっては今後必ず役立つ経験になったと思います。引き続きしっかりと活動してください。

## こんな人におすすめ！

- ・地域貢献に興味がある人
- ・伊勢志摩地域で活動したい人
- ・文章作成、企画に興味がある人
- ・人と協力して物事を進めるのが好きな人
- ・伊勢志摩地域に興味がある人



## 成果物 / 制作物

広報いせ9月1日号  
[https://www.city.ise.mie.jp/\\_res/projects/default\\_project\\_page\\_001/018/072/241101all.pdf](https://www.city.ise.mie.jp/_res/projects/default_project_page_001/018/072/241101all.pdf)

広報いせ11月1日号  
[https://www.city.ise.mie.jp/\\_res/projects/default\\_project\\_page\\_001/018/072/241101all.pdf](https://www.city.ise.mie.jp/_res/projects/default_project_page_001/018/072/241101all.pdf)